



特定非営利活動法人 コミュニティリーダー ひゅーる ぽん

# 事業計画書

2017

## 活動の基本方針

未来への一歩 未来へつなぐ私たちの一歩 One step to make the happy future.

今年は、団体の創立以来36周年目の年になります。

昨年度は、人とつながる力である交流感についてあらためて学びあい、交流感を育むことのできる理想の集団像を考えました。

あわせて、相互を大切にできるアサーティブな態度についても学びました。

また、将来のぽんぽんのあり方を考えることを通して、人間がいきいきと生きるために大切にしたいことは何かを議論しました。

さらに、年間の活動テーマである「笑顔」は、つねに私たちの胸の中にあります。

これらはすべて、子どもたち、通所者、そして私たち自身の未来を幸せへつなげるためのアプローチでした。

ふと振り返ってみると、ここ数年、私たちは、内面のゆとり、豊かさ、深さをテーマにして活動していることを感じます。そして同時に、それらの願いと日々・現実のギャップとの間で心のきしみが増していることも感じます。

社会に目を向けてみると

「民主主義の成熟」と「ポピュリズムの台頭」、「平和な社会」と「核の力が作る平和」、「地域振興」と「消滅していく地域・限界集落」、「経済大国」と「貧困層の拡大」、「人間関係の希薄化」と「絆、つながり」、「共助」と「競争」、「わがこと・まるごと」と「自己主義・個人主義」…。

また私たちの目の前では

「ゆとりと愛情を持った子育て・支援」と「効率的かつ規範に沿ったサービス」、「子どもたち、利用者の人権の尊重」と「過酷な労働環境」、「業務の簡素化」と「大量な文書と業務指導」…。

ひとつしかない社会、現場を示す言葉であるはずなのに、理想と現実があまりにも乖離していたり、相反する言葉があたかもともに事実であるかのようにいわれていたり、また現実を変える是正の呪文のように使われていたり…社会は大変複雑、難解になってきたことを感じます。

そのためか、ふと、私たちは、本当に大切にすべき真実を見失いそうになっていることがあります。真実を見いだす時間すら失い流されてしまっていることだってあります。そして、最も危惧すべきだと思うのは、そのような矛盾した社会の姿を子どもたちはちゃんと見つめながら生きているという事実です。

さらに、この4月になって世界情勢はにわかに変化し、私たちを取り巻く社会は大変きな臭い雰囲気にも包まれるようになりました。指導者の思想、考え方によって、こんなにも社会は翻弄されるのか、人々の努力によって築き上げられた平和の礎はこんなにも簡単に揺らいでしまうのかと感じさせられます。平和主義を掲げる私たちの国ですが、その主張は全く影を潜め、当然のように「肯定」と「追随」のみが語られています。

この矛盾も子どもたちは見ているのです。

よく「平和ぼけ」だといわれますが、こうした状況を見ていると、ゆるぎない本質や信念、人として実現すべき理想のありかたが曖昧になっている、なってしまったことの方が問題のように思います。単純に考えれば子どもだってわかる「こうすべき生き方」ができなくなってしまうことが問題なのだと思うのです。

困っていたら助け合えばいい、威張るよりも平等で気を使わない方がいい、度を超えて競い合わないほうがいい、子どもには愛情と時間をたっぷりかけた方がいい、人の心にはゆとりがあった方がいい、戦争はしない…など。

2025年問題を始めとし、私たちの未来には多くの心配があふれているといいます。だからこそ、私たちは、今、本当に大切なこと、人としての真実を見つめ生きていこうと思います。真実に基づいた、心ある生き方を実践したいと思います。そして、その思いを主張していきたいと思います。

子どもたち、本人と共に過ごす時間を一番に大切にすること。

ともに動き、体験し、心通わせ行動する中で、繰り返し考え、また行動し、学びあい、成長を続けること、そして、夢を描くこと。

私たち自身が、真実を見据え、信念に矛盾することなく仕事を進めて生きていくこと。

そして私たちのこの想いをつないでいくために  
共に生きていくことの喜びや幸せを実践し伝えていく場、  
地域の青少年とともに育ち、育ちあう場、  
民の自発的な活動を応援する場、  
をみんなでつくり、実践し、未来への種を蒔きたいと思います。

今だからこそ、この今を決して先延ばしすることなく、まずは自分たちから、目の前の子どもたち、人たちとともに誠をもって歩んでいきたいと思います。

何度も何度も立ち止まってでも、人としての真実をもって笑顔とともに活動をしていきたいと思います。

私たちのこの一年の一步は、未来につながる確実な一步にしたいと思います。

「この子らと世に光を」

私たちは、今年も子どもたち、そしてみなさんとともにあります。私たちは、これまでの歩みの中でもそうしてきたように、また、そうすることで、すべての夢を叶えてきたように、どんな時も心の中に太陽を掲げ、誇りを持って、まっすぐに、ともに歩んでいきたいと思います。



## 運営に関わるプログラム

今年度は、これまで準備してきた社会福祉法人化について結論を出していきたいと思ひます。それに基づき、これまでの活動理念をそのままに、より安定した活動と事業の継続の基盤をつくります。

社会福祉事業とまちづくりの事業等のバランスをとりながら、私たちの理念を実現できる最も良い形を選択していきたいと思ひます。そして、より一層働きやすい労働環境と財務処理に関する整備と強化を行います。そのために、事務局機能の強化を図り安定した運営に取り組んでいきます。一步を踏み出す今年度、スタッフ一同理念を共有し思いを一つにして、進んでいきたいと思ひます。

### 1-1.各種運営会議

#### 1-1-1 運営に関する会議

- |                                |                         |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1-1-1-1 通常総会                   | 1-1-1-6 業務セクション会議       |
| 1-1-1-2 顧問監事会                  | 1-1-1-7 事業検討委員会         |
| 1-1-1-3 理事会                    | 1-1-1-8 こども発達支援センター運営会議 |
| 1-1-1-4 運営委員会                  |                         |
| 1-1-1-5 Think Different・外部協働会議 |                         |

#### 1-1-2 プログラム実施に関する会議

- 1-1-2-1 コミュニティスペース事業に関わるプログラム会議
- 1-1-2-2 まちづくり、ボランティア育成事業に関わるプロジェクト会議

### 1-2.活動支援プログラム

- 1-2-1 Hull Fan
- 1-2-2 一般寄付

### 1-3.スタッフ・リーダー研修

- 1-3-1 新人スタッフ研修
- 1-3-2 グループ内研修
- 1-3-3 他団体主催セミナー（講座）への参加

### 1-4.その他 広報

法人としての理念や取組みを伝えるための、発信力を高める努力を行っていきます。広報紙またはwebを活用した情報発信等。

# コミュニティスペースプログラム

## 2-1.こども発達支援センター事業

### 2-1-1 児童発達支援（ひよこ組）＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業

今年度も、発達年齢別のグループ療育と生活年齢を尊重したクラスでの療育とを合わせて行っていく中で、子どもたちが安心して生き生きと自分らしさを発揮できる場にしていきたいと思ひます。

また、昨年度重点的に取り組んだ、保護者に寄り添う「家族支援」については、今年度は子どもの家庭生活にスポットを当て、新たに家庭訪問などを実施しながら、家庭での生活や遊びにおける課題を把握し、家庭でできる工夫を一緒に考えていくような、より具体的な支援を行っていきたく思ひます。さらに、センター自主事業として見守り保育事業を試行で立ち上げ、保護者のレスパイトも含め、家族全員が笑顔で過ごせるための場を作っていきます。

そのためにも、研修などを通してスタッフの専門性をより高めることや、子どもを客観的に捉えるアセスメントの目を持つことを重点課題とし、子ども一人一人を丁寧に見つめ、スタッフ全員で共通の発達観をもって療育を行なっていけるようにします。



事業目的	2歳から就学前までの発達に課題のある子ども達の思いや願いをくみ取りながら大切に育むことや生活の支援を行うことを通して、日常生活動作の自立や人・集団に対しての愛着心を育むこと、いきいきと過ごしていくための支援を行います。
実施内容	<p>ひゅーるぽんこども発達支援センター独自の安心感を基盤とした交流感・有能感・自己決定感の醸成を基礎として、発達支援指針に基づく「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」「養護」の6領域の支援を行います。</p> <p>(1)活動計画 発達課題に配慮した個別療育支援計画に基づく支援を行います。</p> <p>(2)行事予定 4月：はじまりの会 5月：徒歩遠足、支援計画提示個別懇談 6月：健康診断 7月：たなばた、水遊び、歯科検診 8月：水遊び、カレーパーティー、夕涼み会（年長児おとまり会） 10月：支援計画中間個別懇談 11月：遠足、やきいも 12月：おもちつき、冬のお楽しみ会 2月：豆まき（節分）、健康診断、支援計画まとめ懇談 3月：巣立ちの会 ※毎月：誕生会・身体測定を実施</p> <p>(3)その他 センター自主事業 ・幼稚園保育園に通うひよこ組退園後の保護者支援「こっこくらぶ」（月1回） ・就学後の学童期保護者支援「こけこっこくらぶ」（月1回） ・家族支援見守り保育「ゆうやけひよこ ちっち」を新規で試行実施</p>
実施予定	通年
事業体制	保育士・児童指導員・心理士・管理栄養士・調理員・ボランティアリーダーなど
事業費	50,054,967円



## 2-1-2 放課後等デイサービス事業（きっず組）＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業

今年度もこどもの社会力（社会の中で自分らしさを発揮していく力、周囲の人と力を合わせて取り組む力、自分で考えて様々な選択ができる力の3つの力を使って、社会に積極的に参画していく力・態度）を育てていけるように取り組めます。

引き続き、年齢や発達段階に合わせた集団での支援目標を設定し、年間の活動プログラムと連動させていくことで、集団の中で子どもたち同士が育ち合う関係を充実していきます。中高生の子ども達については、自分たちで企画し、実行することで、自ら決めて行動する力を伸ばし、集団の中での役割に対する意識の向上や社会に出ていくための心や態度の育成に取り組んでいきたいと思えます。小学生の子どもたちは、友達と様々な経験を積み、一緒に過ごす楽しさ、挑戦し達成する喜びを感じることで交流感を高めます。また合同での活動は、年齢や発達段階の適した内容を分担することで一体的な活動として実施し相互の成長を促します。

必要な子に対しては、家庭と連携し、基本的な生活習慣の確立について取り組めます。また社会力の成長との関係性について保護者に説明をしていきます。

保護者とは、従来の個別懇談、日々のやりとりと合わせて、勉強会やその後の交流会を計画し、保護者との子どもの育ちについて思いを共有していくこと、保護者同士の繋がり作りに積極的に取り組んでいきます。

また、こどもを中心に考え、教育機関、医療機関と共通の理解に基づく支援を深めるなど必要に応じて行っていきます。





事業目的	障がいのある子ども達に対して、子どもの想いや願いをくみ取り、大切に育む事を活動の基本とし、安心感を基盤に人や社会とつながって、いきいきと自己の力を発揮していけるよう育ちの支援を行います。
事業内容	<p>安心感を基盤に、交流感、有能感、自己決定感を育み、子ども達の社会力を高めるための支援を行います。さらに実際の指導に当たっては発達支援指針にもとづいて「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の6領域の発達支援を行います。</p> <p>(1)活動計画 年間を通して、子ども達の想いを大切にしながら、自立した日常生活を営むために必要な支援、創作的活動や作業活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を行います。</p> <p>月別活動予定</p> <p>4月 バーベキュー、サイクリング 5月 遠足（ひよこ組、ぽんぽんととの合同プログラム）、保護者交流会、個別懇談（個別支援計画の確認） 6月 サイクリング 7月 カヌー、プール、保護者勉強会 8月 キャンプ、ナイトウォーク、夜市参加、プール 9月 お泊まり会、写生大会、保護者勉強会 10月 ぽんぽんと合同プログラム、安芸太田町の子どもたちとの交流、ハロウィンパーティ、個人懇談（個別支援計画の見直し） 11月 地域のお祭りの参加、地域バレーボール大会の参加、保護者勉強会 12月 クリスマス会、保護者交流会 1月 初詣、書き初め、雪遊び、保護者勉強会 2月 節分、バレンタインクッキング、 3月 旅行、すだちの会、保護者勉強会、個人懇談（個別支援計画の評価） その他、年間を通じて運動クラブを実施予定</p> <p>(2)個別支援については、基本的な生活習慣チェック表と社会力評価表を利用し、子どもたち一人ひとりの現在の状況と課題を促え直し、短期的、長期的な個別の支援計画を作成し、支援を行います。また集団ごとの目標を設定しアプローチを行います。</p> <p>(3)こども発達支援センターとして、専門性を生かし地域社会で果たす役割を考察しながら、学校・関係機関・医療機関等との連携・協働による支援を行います</p> <p>(4)ひよこ組、ぽんぽんととの合同の活動を積極的に行い、関係を深めるとともに、子ども達の成長の場面にします。</p> <p>(5)個別懇談、保護者勉強会、交流会を通して保護者と想いを共有するとともに、保護者間の繋がりを深める場面にします。</p>
実施予定	通年
事業体制	スタッフ、ボランティアリーダー、外部協力者など
事業費	23,927,297円



### 2-1-3 保育所等訪問支援事業＝障害者総合福祉法に規定する事業

事業目的	保育所等において、発達に支援が必要な子どもが他の子どもとの集団生活に適應することができるよう適切で効果的な専門的支援を行います。
実施内容	障害児相談支援のプランにより当事業が必要と認められた児童への支援をおこなっていきます。また、支援員の育成に努めていきます。
実施予定	通年
事業体制	保育士
事業費	123,682円

### 2-1-4 障害児相談支援事業（＝児童福祉法に規定する障害児地域支援事業）・障害児指定特定相談支援事業（＝障害者総合福祉法に規定する事業）

昨年度に引き続き、子どもの育ちに関する相談、サービス等利用計画作成に関する相談に対応し、発達に支援の必要な地域のこども達の育ちを応援していきます。福祉サービスを必要としている人誰もが、安心して支援を受けながらその人らしく生き生きと生活することができるよう、計画相談の意義や大切さを伝えていきたいと思ひます。

事業目的	発達に支援が必要な地域の子どもが自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう相談支援を行います。
実施内容	(1)相談の受け入れ 一般的な育ちの支援に関する相談。 通所や児童福祉サービス利用に関わる相談。 豊かな地域生活をおくるための相談。 他機関（行政、保育園、学校、幼稚園等）との連携。 (2)サービス等利用計画の作成とモニタリング。 (3)障害者自立支援協議会安佐南地域部会への参加とこども部会の運営。
実施予定	通年
事業体制	スタッフ
事業費	4,445,271円



2-1-5 広島市障害児等療育支援事業＝その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

事業目的	広島市より委託を受け、障害児等の地域における生活を支えるため、身近な地域で療育指導、相談等が受けられる療育機能の充実を図り、地域の発達に支援が必要なこどもたちの福祉の向上を図ります。
事業内容	<p>(1)在宅支援訪問療育指導事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○希望に応じて保健師、社会福祉士等が各家庭を訪問し、健康診査、相談及び助言を行います。</li> <li>○ひろばKUSUKUSU祇園の発達相談の定期開催 2ヶ月に1回予約制で個別相談を行います。</li> </ul> <p>(2)在宅支援外来療育指導事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子育てサロンひゅーる 隔週火曜日(第2・第4) 10:30～11:30 子育て中の親子を対象に、遊びの支援、集いの場の提供を行います。</li> <li>○ぴよぴよくらぶ 隔週火曜日(第1・第3) 10:30～12:30 発達の支援が必要な幼児(親子)を対象に、生活や遊びの支援を行います。</li> </ul> <p>(3)施設支援一般指導事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひゅーるぼんの保育士等が、地域の保育所等の職員に対し、発達支援に関する技術の指導等を行います。</li> </ul>
実施予定	通年
事業体制	保育士 保健師 相談員 ボランティア その他のスタッフ
事業費	2,106,175円



2-1-6 その他 こども発達支援センター自主事業 =自主事業

事業目的	こども発達支援センターとしての専門機能を活かし、地域で発達に支援が必要な子どもやその家族への相談、他機関との連携を行い、地域の中核的な療育支援施設としての役割を果たします。
事業内容	<p>(1)子育て事業 水遊び等を企画しながら、地域の親子が気軽に足を運べる子育て支援センターとしての役割を果たしていきます。</p> <p>(2)アフターフォロー保護者支援事業 ひよこぐみを退園し、幼稚園・保育園に通う子どもたちの保護者を対象とした「こっこくらぶ」と、卒園し就学を迎えた保護者を対象とした「こけこっこくらぶ」を昨年度に引き続き実施します。</p> <p>(3)家族支援事業（ゆうやけひよこ ちっち）（新規事業） ひよこ組を利用する園児を対象に療育時間後の延長保育を試行実施します。</p> <p>(4)地域啓発（公開研修）の実施 地域保護者や事業所むけ研修を企画実施します。</p> <p>(5)安佐南区こども発達支援事業所連絡会への参加</p> <p>(6)福祉施設としての役割 大学の実習をはじめ、ボランティアの受け入れを積極的に行います。</p>
実施予定	通年
事業体制	スタッフ
事業費	21,000円



## 2-2.コミュニティほっとスペースぽんぽん =地域活動支援センター

人や社会と繋がって、いきいきと生きていくための支援を行います。通所者ひとりひとりが、アートや製品づくり、イベントへの参加などを通して、それぞれの持つ力を十分に発揮していけるよう取り組みます。

アートでは、彼らにしかできない作品や想いのこもった製品を生み出し、より多くの方に見ていただける機会を作りたいと思います。また、彼らの力を認め彼らの生み出す作品に共感していただける方、心を通わせてくださる方々とのネットワークをより深め、新しい協働の形を模索していきたいと思います。その場として、今年度は、「ギャラリーカフェ 金木屋」と「ギャラリーG」でのアート展を実施します。彼らのアートを通して、アートの持つ力と可能性を社会に伝え広めていきたいと思います。

働くことの支援として、ここ数年の課題としていた、就労支援B型事業所への移行を行う予定です。運営の安定をはかり、より彼らの力を様々な場面で発揮できるように取り組みます。彼らの力を、地域の中で発揮できる事業の可能性を模索しながら、取り組みたいと思います。

併せて、保健師と連携を取りながら、通所者の健康面への取り組みを、家族とともに協力しながら取り組んでいきたいと思います。



事業目的	18歳以上の障がいのある人の就労、社会参画ならびに豊かな地域生活の支援を行うことを通して、人や社会とつながる喜びを感じながらいきいきと豊かに生きていくことを支援します。
実施内容	<p>(1)人や社会とつながっていきいきと豊かに生きる社会生活支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○働くことの支援 アート（アート製品づくり・販売、レンタルなど）を通じた就労・自立支援、社会参画支援。就業支援センターと連携した就労支援。</li> <li>○生きがいの支援 生活能力の向上、健康管理・維持増進に関わる取り組み、生活面の指導・支援、医療・関係機関との連携、人権擁護センターほっと「ほっとさん」の訪問、健康維持活動（保健師による健康観察、定期的に開催する運動クラブ活動）</li> </ul> <p>(2)あたたかなまちづくりの拠点となる活動 ギャラリーでの絵画展示・貸し出し・企画展、イベントの企画、イベント時のカフェの運営、など、日常的な地域の交流拠点づくり。</p> <p>(3)利用相談や地域生活に関わる相談、利用希望者の見学・体験、実習生、ボランティア・アートサポーター、見学の受け入れ等。</p> <p>※「地域活動支援センターⅢ型事業」として実施し、障害者総合支援法に基づく「就労継続B型事業所」に移行予定。</p>
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、ボランティアリーダー、アートサポーターなど
事業費	14,837,498円





## まちづくり・コミュニティボランティア育成プログラム

### 3-1 まちづくり

#### 3-1-1 アートによるまちづくりプログラム

##### 3-1-1-1 アート・ルネッサンス2019 =まちづくりに関わる事業

アート・ルネッサンスの開催を通して、彼らのアートの魅力を発信するとともに、創作活動に取り組むアーティストの発掘、街中での多様な取り組みを行い、社会に表現のおもしろさとその価値を伝えます。アーティスト、彼らのアート活動を支援するアートサポーター、運営を応援して下さるたくさんの方々との繋がり、この作品展を高めていきます。

事業目的	○障がいのある人のアートが持つ芸術性と価値を広く社会に広めていきます。 ○アーティストと社会がつながる社会参画の場をつくりまします。 ○現場で制作するアーティスト、サポーター同士のつながりを広げまします。 ○アーティスト、サポーターの表現活動に取り組む創作意欲が高まる取組まを行います。
実施内容	(1)中国地方5県で障がいのある人の芸術作品を公募し、選考の上、展示を行います。 (2)アーティスト、サポーター、市民との協働の形で開催まします。
実施予定	2018年2月
実施体制	事務局スタッフ、アートサポーター、ボランティアリーダー、一般ボランティア、アーティストなど
事業費	1,220,000円



### 3-1-1-2 幸せProducts. =まちづくりに関わる事業

幸せProducts.では、アートの魅力を生かした製品づくりに取り組むと共に、アートが日常の中にある面白さを社会に広めることを目的として取り組んでいきます。今年度は、蔦屋書店（広島市西区 LECT内）と協働開発したブックカバーの販売が4月末より始まります。また今後も継続してブックカバーの製作が決定しています。様々なアーティストを巻き込んだ動きになるよう企画していきたいと思います。またアーティストの権利を守るための契約書の整備も進んでいるので、彼らの権利を守りながら製品開発をしていきたいと思っています。

「アート・ルネッサンス」や「アートサポートセンターひゆるる」の動きに合わせ、協働してアートがまちの中で展開していくムーブメントに引き続き取り組み、アートが社会を面白くしていくことを示していければと思っています。

事業目的	○社会の中で障がいのある人のアートを普及させ、またアートの製品化を通して、障がいのある人の社会参画を促進します。 ○アートをまちづくりに活かす取り組みを、ムーブメントとして高めていきます。
実施内容	(1)アートを使った新製品を開発、販売。 (2)アートルネッサンスとアートサポートセンターひゆるると連携した障がい者アートを活用したアートイベントの開催 (3)製品化について製品開発会議、外部との意見交換の実施
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、アーティスト、アートサポーターなど
事業費	320,000円

### 3-1-1-3 アートスペース =まちづくりに関わる事業

事業目的	○障がいのある人のアートを支援するノウハウと資源を活用し、アートに取り組む環境を提供してきます。 ○地域へ開かれたアート教室を開催し、制作環境を高めていきます。 ○アーティストの発掘とアートの社会化を目指していきます。
実施内容	(1)アートスペース（絵画）の開催。週2回。（月4回コース・8回コース）アーティストが刺激しあい、のびのびと作品づくりを行える制作環境の場を提供します。 (2)アートスペース（陶芸）の開催。月2回。外部より専門の講師を招き、自由な発想で個性的作品づくりを行います。 (3)アート・ルネッサンス等の公募展への応募、作品展の開催等、作品を通じた社会参画を行います。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、外部講師
事業費	696,000円



### 3-1-1-4 アートサポートセンターひゆるる

これまでの取り組みの中で、アートに関する事業が多岐にわたり、外部からの相談や活動協力、依頼も増えてきました。そこで、今年度は、アートの事業を取りまとめる事務局を新たに設置し、アートサポートセンターひゆるるとして活動していきます。アートに関する事業をより発展することと、今後の広島における障がい者アートの方向性について多くの方と考えていくようにします。

「アート・ルネッサンス」の開催、幸せProducts.の活動、広島県の「平成29年度障害者芸術文化活動事業」の受託事業など、そして新たに、障がいのある方々と作る舞台表現活動（演劇）にも取り組みます。また、企業や団体からのアート作品に関する様々な依頼が増えてきています。相互に権利を守りながら、より良い関係が気づけるように丁寧に対応をしていきたいと思えます。

今年は、たくさんの方々と、気持ちを通わせ、丁寧に対応しながら将来を見据えた活動の基盤を作っていきたいと思えます。

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障がい者芸術文化活動に関わる、活動基盤の充実・強化。</li> <li>○アートに関する、相談窓口。</li> <li>○今後の障がい者アートのあり方を考え、目標を共有する</li> <li>○障がいのある人、演劇関係者と共につくる新たな劇団づくり。</li> </ul>
実施日時	通年
実施内容	(1)アートサポートセンターひゆるるの運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>○広島県平成29年度障害者芸術文化活動支援事業の実施</li> <li>○作品展開催プロジェクトの事務局</li> <li>○幸せProducts.プロジェクトの事務局</li> <li>○演劇関係事業プロジェクトの事務局</li> <li>○権利に関するバイブル本製作委員会の事務局</li> </ul> ※事業の一部は、「広島県障害者芸術文化活動支援事業」として実施します。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、専門家協力委員、サポート協力委員、演劇関係者
事業費	広島県障害者芸術文化活動支援事業 7,740,000円 アートによるまちづくり事務局事業 3,849,493円

### 3-1-2 地域・社会啓発にぎわいづくりプログラム =まちづくりに関わる事業

事業目的	実施するさまざまなプログラムを通して、多様な人たちの交流の場を創造し、人のつながりづくり、気づきや成長へと発展させていきます。
実施内容	桜まつり・夜市・ぽんぽんマルシェ 啓発とともに地域住民が足を運びやすい地域に開かれた「おまつり」「拠点づくり」をめざします。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ ボランティアに関心のある人
事業費	140,000円

### 3-1-3 地域協カプログラム =まちづくりに関わる事業

その他、公民館まつり、区民まつり等地域行事への協力を行います。



### 3-2 コミュニティボランティア育成プログラム

今年度も高校生や企業の方たちなど、幅広い人々とのつながりを大切にしながら地域のボランティア育成の拠点として、協働しながら社会を豊かにしていくプログラムを作っていきたいと思えます。

#### 3-2-1 ボランティアセンタープログラム =ボランティアおよびボランティア団体の参加・育成支援、そのための助言に関わる事業

事業目的	ボランティアに関心のある人々を巻き込んでいながら、学び・学びあいの場を提供していきます。 私たちが展開する様々なプログラムに参加することを通して、ボランティア・市民活動について相互に学び合う場を作ります。
実施内容	(1)様々なプログラムや、行事等へのボランティアの参加を積極的に受け入れます。 (2)中学生・高校生・大学生の職場体験実習やインターンシップをボランティア養成や福祉理解のスタートとして捉え積極的な受け入れをおこないます。 (3)中学生を対象とした「ボランティア講座（職場体験）」を企画実施します。
実施予定	通年
実施体制	スタッフ、外部講師
事業費	10,000円



3-2-2 ボランティアコーディネーター養成講座 =ボランティアおよびボランティア団体の参加・育成支援、そのための助言に関わる事業

事業目的	○ボランティアコーディネーターの知識を深めるとともに、実践力を身につけたコーディネーターを育成することで、各団体におけるボランティア受け入れ資質の向上と市民活動の充実を図ります。 ○広島各現場で活動するコーディネーター同士が日常的につながることで、連携によるコーディネートが可能になるとともに、協働によるまちづくり活動を実施します。
事業内容	基礎編・応用編の2本立ての研修を開催する予定です。
実施予定	通年（年2回）
実施体制	スタッフ 広島市社会福祉協議会との共催
事業費	30,000円

3-2-3 広島市災害ボランティア活動連絡調整会議協力プログラム  
=緊急・災害時の支援に関わる事業

事業目的	「広島市災害ボランティア活動連絡調整会議」構成団体として、協働しながら災害時の対応にあたります。
実施内容	(1)定例会議への参加 (2)災害ボランティアセンター開設・運営シミュレーションへの参加 (3)その他
実施予定	通年
実施体制	スタッフ 協働団体

3-2-4 その他 講師・委員派遣 =ボランティアおよびボランティア団体の参加育成支援、そのための助言に関わる事業

事業目的	講師や委員の派遣を通して、社会啓発、障がいのあるこどもと大人の福祉の充実・ボランティア・NPO活動を推進するための社会基盤整備、まちづくりに関する提言を行います。同時に他団体とのネットワークを強化していきます。
事業内容	行政・学校・他団体等からの要請に応じて、講師・委員を派遣します。
実施予定	通年
実施体制	事務局スタッフ、ボランティアリーダー

3-2-5 職場体験・実習生等の受け入れ

## 特定非営利活動法人 コミュニティラーター ひゆるぼん &lt;H29年度&gt; 年間予算案

(単位 円)

第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	経常収益	人件費	その他経費	当期経常増減額	共通経費配賦	借入返済金額	退職金保険料積立	修繕費積立	費用合計	現預金増減額
運営に関わるプログラム	法人事務局	法人事務局	法人事務局	968,850	12,421,619	6,111,747	-17,564,516	-17,564,516	0	0	0	968,850	0
		寄付金	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			ぼんぼん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		特別会計	売電	470,000	0	74,000	396,000	0	396,000	0	0	470,000	0
			ぼんぼん施設利用費	777,600	0	0	777,600	0	0	0	777,600	777,600	0
			運営に関わるプログラム合計	2,216,450	12,421,619	6,185,747	-16,390,916	-17,564,516	396,000	0	777,600	2,216,450	0
コミュニティスペースプログラム	子ども発達支援センター	児童発達支援(ひよこ組)	児童発達支援(ひよこ組)	61,901,016	21,992,308	588,000	39,320,708	12,919,798	5,277,200	1,084,317	305,502	42,167,125	19,733,891
			給食	6,455,026	4,326,267	1,975,030	153,729	1,347,274	179,546	27,867	31,858	7,887,842	-1,432,816
		放課後等デイサービス事業(きっず組)	放課後等デイサービス事業(きっず組)	19,674,793	16,898,084	502,000	2,274,709	4,106,465	1,581,197	482,712	97,101	23,667,559	-3,992,766
			送迎	834,558	0	0	834,558	174,186	70,492	10,941	4,119	259,738	574,820
		保育所等訪問事業	保育所等訪問事業	116,724	0	87,400	29,324	24,363	9,819	1,524	576	123,682	-6,958
			その他(訪問事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		障害児相談支援事業・ 障害児指定特定相談支援事業 障害児等療育支援事業	障害児相談支援	1,579,803	3,872,823	81,400	-2,374,420	329,732	132,893	20,626	7,797	4,445,271	-2,865,468
			障害児指定特定相談支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		市障害児等療育支援	617,370	1,814,879	99,400	-1,296,909	128,856	51,933	8,060	3,047	2,106,175	-1,488,805	
		一般相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他 子ども発達支援センター自主事業	自主事業	0	0	21,000	-21,000	0	0	0	0	21,000	-21,000	
	子ども発達支援センター共通	センター共通	0	0	3,302,441	-3,302,441	-3,302,441	0	0	0	0	0	
			子ども発達支援センター合計	91,179,290	48,904,361	6,656,671	35,618,258	15,728,233	7,303,080	1,636,047	450,000	80,678,392	10,500,898
地域活動支援センターⅢ型	コミュニティほっとスペースぼんぼん	一般会計	10,645,250	8,607,042	1,224,640	813,568	1,836,283	0	142,533	0	11,810,498	-1,165,248	
		特別会計	3,027,000	1,210,800	1,816,200	0	0	0	0	0	3,027,000	0	
		地域活動支援センターⅢ型合計	13,672,250	9,817,842	3,040,840	813,568	1,836,283	0	142,533	0	14,837,498	-1,165,248	
まちづくり・ボランティア育成プログラム	まちづくり	アート・ルネッサンス2018	アート・ルネッサンス2018	1,220,000	0	1,220,000	0	0	0	0	0	1,220,000	0
			幸せProducts	320,000	0	320,000	0	0	0	0	0	320,000	0
			アートスペース	696,000	0	696,000	0	0	0	0	0	696,000	0
			アートサポートセンターひゆる	7,740,000	8,439,493	3,150,000	-3,849,493	0	0	0	0	11,589,493	-3,849,493
			地域・社会啓発にぎわいづくりプログラム	140,000	0	140,000	0	0	0	0	0	140,000	0
		地域協力プログラム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			まちづくり合計	10,116,000	8,439,493	5,526,000	-3,849,493	0	0	0	0	13,965,493	-3,849,493
	ボランティア育成プログラム	ボランティア応援(Hull Fan)	Hull Fan ※1	1,640,000	0	648,000	992,000	0	0	0	0	648,000	992,000
		ボランティアセンタープログラム	ボランティアセンタープログラム	0	0	10,000	-10,000	0	0	0	0	10,000	-10,000
		ボランティアコーディネーター養成講座	ボランティアコーディネーター養成講座	30,000	0	30,000	0	0	0	0	0	30,000	0
広島市災害ボランティア活動連絡調整会議協力プログラム		広島市災害ボランティア活動連絡調整会議協力プログラム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他 講師・委員派遣		その他 講師・委員派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ボランティア育成プログラム合計	1,670,000	0	688,000	982,000	0	0	0	0	688,000	982,000	
		まちづくり・ボランティア育成プログラム合計	11,786,000	8,439,493	6,214,000	-2,867,493	0	0	0	0	14,653,493	-2,867,493	
災害支援				0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		災害支援合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計金額	118,853,990	79,583,315	22,097,258	17,173,417	0	7,699,080	1,778,580	1,227,600	112,385,833	6,468,157	

※1 Hull Fanの経常収益については全て年会費(賛助会員・正会員)です。